

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 概況

さまざまな労働分野において人手不足が生じており、また、生産年齢人口の減少も起こっています。そのような中、人生100年時代や一億総活躍社会の実現等々、いずれにしても高齢者が、日本社会を支える重要な役割を担うことがますます大切になっています。高齢者の生きがいづくりという基本的な活動と、労働力として期待される役割をどのように融合させていくか、検討し進めていかなければなりません。

当センターは、2市1町のシルバー人材センターが合併し3年目が経過し、会員が働く場所については居住地以外でも希望職種を探し、抵抗なく就業に結び付くようになり、広域センターの利点が浸透しつつあります。

また、懸案であった地域班については、平成30年度末をもって廃止することとしました。そして、やる気のある会員にもっと活躍しやすいように、新たにサポーター制度をスタートさせることとしました。

さらに、入間東部シルバーフェスティバル2019をキラリふじみで開催し、1,500人以上の方に来場いただきました。チラシやポスターでフェスティバルの開催とともにセンターを周知し、また、当日の会場には多くの会員の写真を展示しセンターの活動を紹介しました。午前の舞台では、地域の団体に音楽を披露していただきました。そして、センター会員サークルによる踊りの披露もあり、新たな活躍の場となりました。

II 事業の概要

1 会員数

(単位：人)

	前年度末 会員数	当年度 入会数	当年度 退会数	当年度末 会員数
男性	1,475	198	226	1,447
女性	674	128	120	682
合計	2,149	326	346	2,129

新規入会者は前年度比17人の減少で、退会者が54人の増となり、前年度（3月31日現在）より会員数は減少となりました。退会理由では、病気や家庭の事情等が多くなっていますが、「その他で就職」が52人、「希望する仕事なし」が33人で全体の25%を占めています。特に、その他で就職という方が昨年度より増えていることは今後の課題です。

2 事業実績

事業実績をみると、契約金額は、請負契約9億5千7百万円（前年比95.2%）、派遣契約2億2千7百万円（前年比155.9%）合計11億8千4百万円となり、前年比102.9%でした。

富士見市及びふじみ野市から受注している小中学校用務業務が、派遣契約になったことが影響したものです。会員の得た収入は、配分金は4千2百万円の減額ですが賃金が6千4百万円の増加となっています。

Ⅲ 事業実施報告

1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます

2件の賠償事故について警告書を発行しました。1件は草刈り機使用の際、防護ネット等の安全措置を取っていなかったため、自動車のガラスを割ってしまったものです。2件目は、数人で植木の刈込作業中に、落とした枝が通りかかった自動車のボディを傷つけてしまったものです。賠償を伴う事故が発生した場合、安全委員会により聞き取りを行い注意喚起してきました。また、6月から植木手入れや除草作業の現場を集中的に巡回してきました。しかし、警告書を発行するという残念な結果になってしまいました。

仕事別グループ内に安全担当者を置くこととし、8月に第1回目の会議を開催しました。就業中や往復途上での「危ないと思ったこと。」をグループごとに集めていただき、傷害事故防止に向け活用できる有益な情報となりました。

刈払機やチェーンソーの取り扱い講習会を対象会員向けに開催しました。また、自転車安全運転講習会は昨年度に引き続き2回実施しました。さらに、東入間警察のご協力により、夕暮れ時の交通安全講習会も開催することができました。

2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します

仕事別グループリーダー会議を2回開催し、仕事別グループ運営の指針により、グループ活動の周知等行いました。5月の会議では、ふじみ野市高齢福祉課の職員により、高齢者の健康づくり、特にフレイル予防についてお話しいたいただき、体操の実技も行いました。1月の会議では、三芳地域の公園清掃グループと富士見地域の公民館グループリーダーに、日頃のグループ活動についてお話しいたいただき、大変参考になりました。

公共関係の仕事に適用している就業交替制度は、すべての地域で適用できました。そして居住地域にない仕事でも、他地域にある場合は、積極的に応募するようになってきました。ただし、女性会員の夜間の仕事への就業等、会員からの要望や課題も明らかになり、早めの解決が望まれます。

3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します

一昨年からお願ひしていましたが、確定申告時の受付等業務を三芳町から派遣にて受けることができました。三芳町と初めての派遣契約ができました。

新規の依頼の場合、請負になじまないというものは、派遣契約するようにお願いしています。既契約先から新たな仕事や増員の依頼がありましたが、新規の発注者は請負、派遣共に数件にとどまりました。

令和2年オープン予定のスーパーや商業施設へのアプローチについて検討を始めました。

退会会員のうち、その他で就職と希望職種なしの方が85人となっており、この方たちがシルバーで仕事ができるようにしていくことが大きな課題となっています。一方、清掃関係の仕事は多くの依頼があるにもかかわらず、会員の就業に結び付いていません。また、除草作業や植木の手入れなど、注文を断っている状況にもかかわらず、就業会員の高齢化等課題を抱えています。

4 強固な組織づくりを進めます

地域班組織については、人数のアンバランスを見直し新たな地区割りができないか等検討しました。しかし、現状活動している会員同士のつながりを大切にしたい等々の意見を班長さんからいただきました。センターにおける会員の活動は、地域班だけでなく、専門委員会委員たちの活動、仕事別グループや自主的なサークル活動があります。いずれの会員もセンターのため、また、会員のため、そして自分のためにと活躍しています。そこで、そのようなやる気のある人を大切に、もっと活躍できるように、サポーター制度をスタートさせることにしました。サポーター会員が増えて、魅力あるセンターをめざしましょう。

センターの課題解決や検討するために5つの専門委員会を設置し進めてきました。各委員会とも長期的な課題とともに緊急の際には急きょ集まり話し合いをすることもありました。

事務局組織は、2課3係制としてスタートしました。今後、事務局職員は係間で異動することも可能となりました。

5 会員の融和を進めます

会員の融和とセンターPRのため、入間東部シルバーフェスティバル 2019 をキラリふじみに於いて開催しました。

午前中の舞台上で発表する会員を募集したところ、ストレッチサークルが早速に応募いただき、当日は見事な踊りを披露していただきました。併せて舞台では、5団体の地域の皆様により楽しい演奏や踊りなどを披露していただきました。

センターPRコーナーのために専門委員会やサークルの方が中心になって準備を進めました。東邦音楽大学の管弦楽のコンサートは終了後も拍手が鳴りやみませんでした。当日はあわてることも多々あり、来年度への課題も残りましたが無事終了できました。

グラウンドゴルフ、山梨方面への日帰り親睦旅行を実施し、多くの方に参加いただきました。会員作品展は3回開催し、フェスティバルでは新たな会員も加わり、にぎやかな作品展となりました。

6 積極的なPR活動を推進します

フェスティバルに於いて、会員の就業中、サークル活動や委員会活動を多くの会員の写真により、広く市民にPRしました。写真を一つ一つ丁寧に見てくださる方が大勢おり、中にはメモを取りながら熱心に見学された方もいました。

チラシの全戸配布や新聞折り込みを実施し、新規会員募集やセンター活動周知に努めました。また、富士見市、ふじみ野市及び三芳町のイベントには、会員サークルの積極的な参加を得て、地域の方たちにセンターの活動をPRしました。

富士見市とふじみ野市の町会・自治会の回覧板に広告を掲載しました。